

博士前期課程（修士） / 健康看護学領域 / 看護デザイン分野

科目コード：21000401

看護デザイン特論Ⅱ Nursing DesignⅡ

担当教員	小林 宏光 垣花 渉				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	文化ケア, スピリチュアルケア・グリーフケア, バイオメカニクス, 環境適応, ユーザビリティ				
学習目的・目標	<p>学習目的：看護技術、療養環境または医療を取り巻く文化的な要素の理解を深め、看護デザインにおける研究・開発プロセスについて学ぶ。</p> <p>学習目標：人間の文化的、生理的、心理的特性を理解し、これに適合した療養環境や看護技術を考究することができる。</p>				
授業計画・内容					
回	内容	授業方法		担当	
1	オリエンテーション	講義		小林・垣花	
2	文化ケアについて（1） M.Leininger：Cultural Careについて			小林	
3	文化ケアについて（2）			小林	
4	文化ケアについて（3）			小林	
5	スピリチュアルケア・グリーフケアについて			小林	
6	バイオメカニクスの観点から看護デザイン（1）			垣花	
7	バイオメカニクスの観点から看護デザイン（2）			垣花	
8	バイオメカニクスの観点から看護デザイン（3）			垣花	
9	バイオメカニクスの観点から看護デザイン（4）			垣花	
10	バイオメカニクスの観点から看護デザイン（5）			垣花	
11	環境適応の観点からの看護デザイン（1）			小林	
12	環境適応の観点からの看護デザイン（2）			小林	
13	環境適応の観点からの看護デザイン（3）			小林	
14	ユーザビリティの観点からの看護デザイン（1）			小林	
15	ユーザビリティの観点からの看護デザイン（2）			小林	
教科書	研究文献を随時紹介				
参考図書等	プリント等適宜配布				
評価指標	出席状況、討議内容 プレゼンテーション、課題レポート				
関連科目	看護デザイン論 看護デザイン演習Ⅰ 看護デザイン演習Ⅱ				
教員から学生へのメッセージ	この特論では文化的、医学生理学的、人間工学的な視点からよりよい看護のデザインを探究します。				